

時田 かずいちろう
事務所

〒916-0141 丹生郡越前町西田中2丁目606
電話：0778-34-2533
メール：fs-asahi@ebony.plala.or.jp



目次

- ご挨拶
- 一般質問

- TOPIC 1
北陸新幹線とインバウンド対策について
 - TOPIC 2
スポーツ選手のUターンについて
 - TOPIC 3
地域公共交通について
- ※その他、田んぼダムについての質問も
しましたが、省略させていただきます。



フルバージョンはこちら

• 活動ダイアリー

一般質問

ご挨拶

町民の皆様方には、日頃より大変お世話になり、また福井県政の発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた以降、社会も少しずつコロナ禍以前の日常に戻りつつあるように感じます。しかしながら、ウクライナや中東など海外の問題、円安更にはエネルギー価格の高騰など私たちを取り巻く環境は、厳しい状態が続いております。皆様の暮らしが少しでも良くなるよう、また福井県そして越前町の発展のために、これからも全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

所属担当 会派「自民党福井県議会」 時田 かずいちろう
常任委員会「総務教育委員会」



1 北陸新幹線とインバウンド対策について

時田

ふくい観光ビジョンで外国人延べ宿泊者数を令和6年40万人にする目標ですが、具体的にどう進めていくのか。

知事

東アジア、特に台湾に向けて営業を強化しており、台湾での商談会に参加や、報奨旅行を誘致、台湾での旅行商品の開発、また、ベトナムやタイなどで旅行博も出展し、福井の魅力を伝えています。ほかには県内市町も含めて、姉妹交流をしている自治体が諸外国に多くあり、PRをし合ったり、大阪や京都、高山など広域観光ルートなど相談しています。(答弁抜粋)

時田

恐竜博物館のような外国人が来訪される公共施設およびそこに繋がる県内公共交通機関において、多言語表記、キャッシュレス決済、Wi-Fi導入の現状と今後の拡大について伺う。

交流文化部長

整備されていない施設につきましては、引き続き整備に向け支援を行います。さらに、交通系ICカードを新幹線開業までに路線バスに導入することとしており、福井鉄道やえちぜん鉄道への導入の準備も進めています。今後も市町や交通機関等と協力し、外国人観光客がスムーズに観光地を訪問・周遊できる体制を整備したいと思います。(答弁抜粋)

時田

訪日外国人に選ばれるようになり、県内での消費が拡大するよう、インバウンド対策として飲食店や土産物店をはじめとした民間事業者が多言語表記やキャッシュレス決済の導入、免税店登録を支援すべきと考えるが、所見を伺う。

交流文化部長

県観光連盟のインバウンドアドバイザーとともに、事業者訪問を行っています。民宿等を対象としたインバウンドセミナーを開催することにより、外国人への接遇や翻訳アプリ活用方法について実地指導を行っています。キャッシュレス決済は、導入に向けた普及啓発を行ってまいります。さらに、免税店の登録件数を増やし県内消費が拡大するよう、受入体制の整備を進めてまいります。(答弁抜粋)

時田

都市部の訪日外国人を呼び込むため、北陸新幹線と駅からの周遊バスなどとを組み合わせ、本場のカニを食べに行くツアーを造成して首都圏の旅行会社等に提案すべきと考えるが、所見を伺う。

交流文化部長

本県を代表する食材、越前がにを本場で食べるツアーは大変人気がございます。ツアーの造成は、バスの運行を含め、採算が取れることが大前提なので、新幹線開通後に観光客の動向をよく見ながら、ツアーの造成あるいは首都圏の旅行者等への提案をしてまいりたいと思います。(答弁抜粋)

Topic
2

スポーツ選手のU Iターンについて

時田

U Iターンのさらなる推進と企業の人材確保のため、スポジョブふくいの対象選手の条件を緩和するとともに、採用人数を拡大してはどうかと考えるが、所見を伺う。

知事

全国大会で活躍することで、マスコミに取り上げられ、企業のPRにもなりますし、実際に、みんなで応援するということで社員の一体感が生まれたと大変高い評価をいただいていますし、そういう選手をぜひほしいと企業さんからも言っています。一方、スポーツ選手は、後々も一生懸命仕事もされ、馬力もあると伺っております。企業へのマッチングに力を入れながら、全国トップクラスの移住支援金もありますし、これらを活用しながら、できるだけ意向に添えるようにU Iターンに力も入れていきたいと考えています。(答弁抜粋)

Topic
3

地域公共交通について

時田

① 広域路線バスに、各市町のコミュニティバスやデマンド交通を組み合わせ、どこかをハブにして繋げていく等、路線の維持のため県が必要な対策をとりまとめ、市町と連携して実施すべきと考えるが、所見を伺う。

未来創造部長

乗り継ぎ拠点につきましては、利便性向上と事業者の運営効率化を両立させる取組みでありまして、利用者の減少や運転士不足に直面している公共交通の維持・確保に有用な手段であると考えます。越前町を走る広域路線バスにつきましても、例えば、各路線の停留所となる織田バスターミナルのハブ機能の強化など、最適な公共交通のあり方について、町やバス事業者と今後協議してまいりたいと考えております。(答弁抜粋)

時田

② 県民が月に1回は利用するような取り組みを、県が主導して実施すべきと考えるが、所見を伺う。

未来創造部長

公共交通機関に乗って残すという意識改革、転換が必要で今年度から、公共交通を楽しく学ぶカードゲームを作り、それを活用した啓発活動、また電車・バスにまつわる幸福エピソードの募集等も行っています。引き続き利用拡大を図ってまいりたいと考えております。(答弁抜粋)

時田

③ 新幹線駅から越前海岸沿いの観光地への交通手段について、観光客向けのバス、タクシーのほか路線バスも含めてトータルで強化すべきと考えるが、所見を伺う。

交流文化部長

越前町においては、レンタカーをはじめ、タクシー、貸切バスを利用した観光客に対し、一部キャッシュバック助成を行うとともに、需要が見込まれるカニシーズンには敦賀駅からバスツアーを運行することになっています。越前海岸方面の移動手段の確保につきましては、新幹線県内開業後の観光客のニーズの把握、あるいは移動手段の分析が必要ですが、まずは越前たけふ駅へのタクシーの配車、駐車場等の費用補助も利用して、レンタカー・カーシェアの増車を事業者に働きかけていきたいと考えてございます。(答弁抜粋)

活動ダイアリー

自民党1期生 議員視察研修
軽井沢町



自民党1期生 議員視察研修 JAXA

自民党1期生 議員視察研修
敦賀火力発電所 敦賀港



マレーシア留学生 交流会



令和5年度
新嘗祭供御献穀田抜穂式

